



BE THE INSPIRATION RI 会長 バリー・ラシン

2018-'19 Weekly Report

2018/8/22 5

クラブ会長テーマ 進化の足跡を残そう

第 2375 回例会報告

日 時：平成 30 年 8 月 8 日（水）

会 場：例会場

司 会：S A A

青木委員

開会点鐘

喜連元昭会長

斉 唱：ロータリーソング「奉仕の理想」

お客様の紹介

喜連元昭会長

安保 満様 多摩中グループ ガバナー補佐

相田禎延様 // グループ幹事

幹事報告

小澤崇文幹事

●地区より インターンシップ受入れ企業の募集

実施日 11 月 13 日～ 15 日

受入校 都立第五商業高校

申 込 8 月 31 日まで、申込は幹事迄

委員長報告

●北島（清）社会奉仕委員長 本日開催の国立市民祭の
実行委員会の案内を委員の方にご案内いたしました
が、台風により 17 日に延期となりました。

クラブ協議会

■喜連元昭会長

本日は服部ガバナーからの提示のあった「より魅力のあるクラブとなるためには？」というテーマのもとに、本日の討議を進めたいと思います。魅力あるクラブと言っても様々な側面があり、そのテーマだけでは茫洋とした話になってしまいますので、本日は討議の内容をいくつかの項目に絞って行いたいと思います。

まずロータリークラブの魅力とはどんなものか、あるいは魅力に欠けているのは何か、おそらく 15 年～ 20



▲ サルズベリの花

年前と今とでは変化しているかも知れません。そこでクラブ歴の長い会員と短い会員からそれぞれ伺ってみたいと思います。

■遠藤常臣会員（入会 16 年）

ロータリーの特徴として、地域の人との出会い、そして友人関係を築いていくことができると思います。例会や奉仕活動で友好関係を高めて行く事もいいのですが、何か趣味を通じて付き合えたらもっといいのかなと思います。

私はゴルフ同好会に加入し年 4 回のコンペを大変楽しみにしていますし、一緒にプレーすることで、その人の個性という人間性を体感することができ、非常に友好関係に効果的だと実感しています。

皆さんも何らかの同好会を設けたりして活動できればロータリーがもっと身近で魅力あるものになると思います。

■山岡眞茂会員（入会 1 年）

ロータリーの魅力としましては同じ理念や志を持った幅広い世代の先輩方と交流や親睦をはかれるというのは最大の魅力です。また私は歯科医業を営んでおりますが、

Rotary



RI 第 2750 地区 多摩中グループ

東京国立ロータリークラブ

会長 喜連 元昭

幹事 小澤 崇文

例 会 日：毎週水曜日

例 会 場：谷保天満宮社務所 2 階 東京都国立市谷保 5209

事 務 所：東京都国立市谷保 5234-1 TEL:042-575-0770 FAX:042-572-8666

E-MAIL：kunitachi-rc@sage.ocn.ne.jp WEB：http://kunitachi-rc.com/

会報委員：岡本 貞雄・平川 貴弘・遠藤 直孝・千葉 伸也

どうしても狭い世界におり、いろんな職業の方、いろんな世代の方に体験談や経験談をお聞かせ頂けるのはとても貴重なことです。

一方、魅力に欠けるところとしましては、会員増強のお話しともつながってくるのかもしれませんが、われわれ40代50代の会員数が不足しているところです。個々では勧誘などしているのかもしれませんがクラブとして会員増強のほうを考えてみてもよいのかもしれませんが。

私は立川青年会議所に所属していました、どうしても卒業後立川RC・立川こぶしRCという流れができてしまっています。青年会議所には委員会のほかに地域ごとの立川部会・国立部会・武蔵村山部会というものがあまして、そういうところにアピールをしていくことも必要かと思えます。

■喜連元昭会長

お話のあった魅力の一つとして親睦も大きな要素になりますが、更に親睦を深めるためにこうしたらどうかというようなご意見を頂けますか？

■本多鋼治会員（親睦活動副委員長）

さらに親睦を深めるためにという事で、私の感じている事を申し上げます。ロータリークラブでは奉仕活動ということで、地域貢献活動をしています。

そこでの事前準備はかなり綿密に行っているとは思いますが、終了後の反省会と言いますか、事後確認の様な事が足りない様に感じています。

次年度に向けた改善点などを出し合う炉辺を設ける事で奉仕活動などでの意義も理解し意思疎通もできやすく、より親睦も深まると考えます。

■喜連元昭会長

同様にクラブの重要な活動である社会奉仕の立場から、どうでしょうか？

■北島清高会員（社会奉仕委員長）

市の会議に出る機会が増え、市内で段々に顔が売れていく部分があると思います。皆さん他団体にも属していて、ロータリーへ入ってから参加するスタンスは違うと思います。ロータリーに入りイベントでは黄色のジャンパーが一つのステータスかと思っています。

先ほどの反省会をやっていないという事に関しては、社会奉仕に限っては、やらされた感というより、自ら進んでやっていく気持ちをどうやって魅力ある活動にしていくのかが委員長の役目なのかと思います。その辺のアピールをして、もっと皆さんが町全体に対してイベントなどに奉仕ができれば、ロータリーが皆さんから認知され、入会希望者が出るのではないかと思います、今年度は活動したいと思えます。

黄色のジャンパーを着て市民の皆さんの前に出ること

が、ステータスと感じてくれて魅力となってくれば、もっと大きくなるのかなと思います。

■佐伯和美会員

早いもので入会して10年を超えました。入るのにとっても抵抗いたしました。今は母の具合が悪いので、出て来るのが困難に近いようなときもありましたが、それでも休まずに出てきているのは、ロータリーが魅力的で引っ張ってくれている部分があるからではないかと、このごろ思います。

私が楽しんでいるようには思われてないかもしれませんが、でも何故だか、ロータリーライフを楽しんでいると自分では思っています。皆様にお目にかかれるのがとても嬉しく、心地いいです。奉仕と親睦が半分でいいんじゃないかと思えるようになりました。

■喜連元昭会長

ありがとうございました。それではここで、一つ具体例として当クラブが継続事業として行っています、三中の生徒と留学生との交流会が、青少年にとっても魅力的かどうか改めて見直してみたいと思います。

まず、活動の目的を、林青少年奉仕委員長作成のパワーポイントで説明をいただきますが、本日委員長がお休みをされていますので、副委員長から説明をしてもらい、その後で意見交換をしたいと思います。

■関俊之会員（青少年奉仕副委員長）

【スライド1】青少年奉仕委員会より、国立市立国立第三中学校での交換留学生交流会の計画について、発表させていただきます。



【スライド2】当クラブは、毎年2月に交換留学生とローテックスを国立第三中学校にお連れして、生徒たちとの交流会を実施してまいりました。その目的は、



(1) ロータリーを通じて社会奉仕の理念及び意義ある地域活動を展開する。

(2) 将来への希望と夢を子供達に与え、視野の広い人間形成に役立てる。

(3) 世界の平和を願い国境を越えた相互理解の一助とする。ということです。今年度も、この方針に変わりありませんが、日程について従来の2月第二金曜日に別の予定が入っているため、調整中です。9月中旬には日程をお知らせすることが出来ると思えます。ご参加のほど、よろしく願いいたします。

【スライド3】今年度は、特に国際ロータリーのビジョン、「インスピレーションになろう」を意識した働きにしたいと願っております。国際ロータリー会長である

あるバリー・ラシン氏は、「何か大きなことに挑戦しようというインスピレーションを、クラブやほかのロータリアンに与えてください。自分よりも長く、後世にも生き続けるものを生み出すために、行動を起こす意欲を引き出していきたいのです」とおっしゃっています。

【スライド4】当委員会では、この交換会を、中学生が世界に目を向け、「何か大きなことに挑戦しよう」というインスピレーションを投げかけるチャンスだと考えました。

【スライド5】そこで、これまででもそうであったように、交換会の主役を、中学の生徒の皆さんということで、焦点を当てたいと思っております。

【スライド6】それでは、この交換会によって、どんな効果がもたらされるのでしょうか？第一番目の効果は、中学生の皆さんが、様々な国の高校生と出会うことが出来るということです。すばらしい出会いは、時に大きな衝撃をもたらします。

【スライド7】第二番目は、英語や他国語が「言葉」であることに気付き、勉強へと動機づけられるということです。来日生が必死に日本語を習得している姿、帰

国生が留学した国で現地の言葉を習得してきた苦勞などに触れることにより、中学生が学んでいる英語や他国語が単なる勉強ではなく、「言葉」であることに気付くというインスピレーションを投げかけたいと思います。その気付きによって、もっと学ぼうとする意欲へと動機づけられると信じます。

【スライド8】三番目の効果は、広い世界に、自分を必要としている人々、自分の能力を発揮できる場所がある

ことに気付くということです。

【スライド9】四番目の効果は、未来のロータリアンを育てる種蒔きをすることです。

RI 会長が「自分よりも長く、後世にも生き続けるものを生み出すために、行動を起こす意欲」とおっしゃっていることの実現に欠かせないのは、次世代に

ロータリーの価値観を伝えることであると思います。それは、同時に国立ロータリークラブの「進化の足跡を残す」ことにつながります。

将来、交換会に参加していた中学生が、ロータリーの交換留学プログラムに応募するかもしれません。あるいは、「あの時、留学生に出会って、世界に出て行く夢を持った」という人が現れるでしょう。この交換会は、たった一日の小さな出来事かもしれませんが、大きな希望と夢をもたらすインスピレーションの日になると確信しております。

そのために、第三中学校の先生方や教育委員会と調整、ご相談をさせていただきます。このような交換会となるよう、地区の皆様と国立ロータリークラブの皆様から、様々なお知恵やアドバイスをいただきたいと願っております。

■喜連元昭会長

昨年このプロジェクトを担当された委員長よりコメントをいただけますか

■北島正典会員（前青少年奉仕委員長）

普段あまり外国人と接しない中学生にとっては、とても新鮮な体験になったのではないかと考えています。毎年2月の実施で、受験期と重なり1年生が対象となっていて、2年・3年生とも交流がもたらより良いのかと思います。昨年の反省として、留学生の中に体の不自由な方・ベジタリアンの方がいて、事前の調査が不足していました。しかし、それらも生徒さんにとっては考える勉強になったのではないかと考えています。

■吉野利春会員（元地区青少年奉仕委員長）

私が会長の時にこの授業をはじめて11年が経ちました。当時の坂本ガバナーが、ご招待したのでなく来られた事があり、ガバナーが感銘を受け地区より表彰を受けました。当初は2年生が対象でした。1年生では思いが伝わりにくいと思います。今後、学校側と交渉をして効果的な授業になるようお願いし、継続をしていってほし

いです。

■喜連元昭会長

その他ご意見はありますか。

■内山会員

地区へのお願い ロータリーの魅力として、災害時の義援金です。災害時の世の中の動きは早くなっています。ロータリーの魅力の一つでもあると思いますので、義捐金等は、是非早めて進めて欲しいです。

■喜連元昭会長

時間もまいりましたので、ここで安保ガバナー補佐から総括をいただきたいと思います。

■安保ガバナー補佐

本日のクラブ協議会は 8月22日に予定のガバナー公式訪問に向けてのものです。貴クラブが抱えている様々な課題ですとか、一番大事なのは会の雰囲気私からガバナーに伝えるための会です。本日は大変貴重なご意見を受け賜れたと考えております。



私が考えています、魅力的なクラブにするためには、会員の皆様1人1人が魅力的になること、これが重要だと考えます。

そのためには、ステータスというご意見もありましたが、やはり皆様方が地域社会または業界で、それぞれの立場の中で自らのステータス・プレゼンスを高めていただく、そこで皆様方の魅力が高まってクラブ全体の魅力が増えていくのだと思います。

人を引き付ける力ですから、魅力が増えれば、会員増強・会員維持にも寄与することになると考えます。貴クラブは今年度50周年で大きな契機かと思います、今後

ますます反映しますことを祈念しまして講評といたします。

ニコニコBOX

二階堂親睦活動委員

●喜連元昭会長 安保ガバナー補佐・相田グループ幹事におかれましては、悪天候の中ご来場有難うございます。本日のクラブフォーラムよろしくお祈いします。

●小澤崇文幹事 安保ガバナー補佐・相田グループ幹事、台風接近の中、御苦勞様です。宜しく御願いします。

●村上会員 安保ガバナー補佐・相田グループ幹事ご苦勞様です。当クラブのクラブ協議会、宜しくお祈いします。9月2日(日)立川グランドホテルにて元荒磯部屋出身荒鷲・呼び出し悟の激励会を行いますので、皆様大勢の参加を宜しくお祈いします。

●山崎会員 安保ガバナー補佐・相田グループ幹事、雨の中ご苦勞様です。1年間がんばって下さい。

●遠藤常臣会員・本間会員・喜連紘子会員・秋山会員 本日は、安保ガバナー補佐・相田グループ幹事のご来訪ありがとうございます。1年間ご指導よろしくお祈いします。

●出席奨励委員会(小川会員・木島会員・近藤会員) 安保ガバナー補佐・相田グループ幹事のご来訪ありがとうございます。一年間よろしくご指導賜りますようお願いいたします。

●SAA委員会(寺澤会員・杉田会員・岡本正伸会員・青木会員・佐伯会員・北島正典会員) 安保ガバナー補佐・相田グループ幹事のご来訪、心より歓迎いたします。

*ニコニコBOX 合計 37,000円 累計 344,000円

出席報告

木島出席奨励委員

8月8日 在籍48名中 出席35名

前々回(7月25日) 出席率97.67%

閉会点鐘

喜連元昭会長

第2750地区について(1)

■かつて東京・千葉・埼玉・沖縄が一つの地区だった。

日本のロータリーの地区は、戦後に国際ロータリーに復帰してからも何回かの地区分割が実施されていきます。東京都全域を含む地区は、当初第60地区として国際ロータリーに復帰しましたが、その後第355地区、第358地区と地区番号が変わりました。

そして、第358地区となった1966年は、日本全国が11地区に整備された年で、第358地区は東京都のほかに千葉、埼玉、沖縄の3県が含まれていました。

沖縄にロータリークラブができたのは日本へ復帰す

る以前のことですが、飛行機による交通の便や、経済効果等の理由から、地理的には離れているが第358地区への帰属が決まったということです。

1967年7月からは、千葉と埼玉が第357地区として分離したため、第358地区は東京と沖縄という構成になりました。この時のクラブ数は東京が41、沖縄が8で、会員数は3,104名でした。

当クラブの創立は1969年2月23日ですので、358地区第8分区に所属していました。この年度には、東ヶ崎潔氏が日本のロータリー史上初めてRIの会長になりました。(地区のホームページを参考)